



1900 Hendon Avenue St. Paul MN 55108 612/625-7766 800-510-MCIA ファックス 612/625-3748
電子メール: mncia@tc.umn.edu ホームページ: <http://www.mncia.org>

プロシージャ — 99.5% 遺伝子非組み換え大豆プログラム

はじめに

99.5% 遺伝子非組み換え大豆プログラム用農地検査に申し込む会員は、このパッケージに記載された要件に従う必要があります。次の情報すべてをよく読み、添付申込書に目を通し、支持されたステップに従います。プロシージャまたは申し込み用紙について質問やご意見がある場合は、MCIA に電話連絡してください。栽培者に連絡した場合は、この情報を共有してください。

これらのステップのうちひとつでも足りないと、大豆が AOSCA IPT™ ラベルを貼るのに適格でなくなる可能性があります。

製品プロシージャ

1. 今年の生産に使用するすべての種地に名前をつけます。
タグのサンプル、種地番号付きの請求書、その他の種地情報を保管しておきます。種子が栽培者用に保管される場合、その旨を表明する手紙を申込書に添えて提出する必要があります。
2. すべての種地を検査することで、Roundup® 耐性大豆となります。
3. すべての契約栽培者を訪ね、IP 大豆の特別なニーズを理解していることを確認してください。次のようなものが含まれます:
 - 設備の手入れ
 - 必要な記録の保管
 - 前の穀物制限、保管ニーズ、収穫時の作業、分離など。
4. 農地検査を MCIA に申し込みます (8 月 1 日まで)。
申し込み期限を過ぎたアプリケーションも受け付けますが、延滞料が課金されます。これらの現場は、監査が予定されたら完了します。(申し込み用紙と記入方法はこのパッケージに入っています)。
5. 栽培中の様々な種類について、MCIA に異なる説明がなされていることを確認します。ファイルにない場合は、MCIA にその説明を教えます (New Soybean Varieties/Brands/Blends)

のアプリケーションとその実行方法についてもこのパッケージに入っています)。

6. **農地検査が完了するまで収穫しないでください。**
農地での収穫準備が整ったが、農地が検査後かどうかわからない場合、MCIA **に即座に問い合わせます。 MCIA は、収穫前検査の場合 2 日ほど前にご連絡くださるようお願いいたします。**
7. 正しい穀物の取扱いおよび分別手順で**農地を収穫し穀物を保管**します。
穀物保管施設がきちんと清潔であり識別されていることを確認します。分別生産流通管理の穀物が保管されている保管場所をすべて記録します。
8. MCIA 認定の IP 穀物取扱い施設で**穀物を加工**します。
(IP 穀物取扱い施設の要件も、このパッケージに入っています。)
9. 最終試験用の公式サンプルは、認定された MCIA 担当者によって抽出されます。
10. **各種地について、遺伝子非組み換えレベルに準拠していることを確認**します。この試験は、エージェンシーが認可した試験方法によりエージェンシーが認可した実験室で行う必要があります。サンプルは、MCIA 実験室に送り、要求された適切な試験が行われます。(種子サンプルレポートもこのパッケージに入っています。)
11. **すべての認定済み製品に AOSCA IP™ ラベルを貼**ります。
タグおよび合格証書の一例が次のページにあります。

完全なタグおよび合格証書の例をこのページに挿入する。